

子どもが作る 弁当の日

市内小・中学校では、親子のふれあいをテーマにした「ふれあい弁当の日」が年2回実施されています。嬉野市では、この取り組みをステップアップした「子どもが自分で作る弁当の日」を推進しており、ほぼ全校で実施されています。

今回は、11月22日(水)に実施された吉田小学校と大野原小中学校の取り組みの様子取材しました。

大野原小中学校

5・6年生8人による弁当作り

家庭科の授業で、子ども達が献立作りから取り組み、3種類のお弁当ができ上がりました。栄養バランス、彩り、味付け、全てにおいて大好評。自信に満ちた子ども達の笑顔が印象的でした。

学校では今回のお弁当作りを生かし、次回の弁当の日には家庭で一品でも作ることができるよう進めていくそうです。

